

科目名	社会福祉外書講読					単位	2.0
担当教員	林 博幸						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	3	授業番号	5216

●授業のテーマ

外書（英語）で社会福祉を学ぶ

●到達目標

英語の文献等に親しみ、読みこなす読解力を身につける。

英米の社会保障・福祉に関する理解力を高める。

●学習内容(授業概要)

まず平易な文献から始めて英文を読むことに慣れていく。そのうえでイギリスとアメリカ合衆国の社会問題、社会保障・福祉、福祉文化に関する題材を用い、わが国との比較も交えながら学ぶ。

具体的には、配付する題材を学生自身が和訳してくる準備を行い、授業時には皆で発表して適切な訳にし、共同学習をしながら読みこなしていく。また、題材の内容について振り返り、相互の感想・意見を出し合って深める。

●学習内容(授業計画)

※下記の計画は、予定する題材のテーマ・分野を示したものであるが、参加者の関心・読解力によって変更する場合がある。

- 1 授業のねらい・概要
- 2 英文に親しむ ①時事テーマ
- 3 ②社会・生活面のトピック
- 4 ③社会福祉に係わるテーマ
- 5 福祉文化に触れる（その1）
- 6 キング牧師（米）①黒人差別と運動
- 7 ②有名な演説
- 8 英米における社会問題 ①高齢者・障害者分野
- 9 ②児童・家庭分野
- 10 ③コミュニティ
- 11 ④その他
- 12 福祉文化に触れる（その2）
- 13 アメリカの社会保障・福祉
- 14 イギリスの社会保障・福祉
- 15 学習内容の振り返り

●準備学習・事後学習の内容

配付する題材を、毎回、事前に訳し、それを授業で発表・交流できるよう準備する。

事後には、自分の訳し方をふり返り、内容そのものから学ぶべきことを整理する。

●成績評価方法・基準

出席状況：3割  
平常の準備・学習：7割

●テキスト（必携）

●参考文献／その他  
授業時に紹介する。

●履修上の注意

題材をできる限り訳してくる予習がもっとも大切である。

大学院への進学を希望して英語の読解力を高めたい人は積極的に履修されたい。

講読する英文（題材）は授業時に配布する。